



## 2024年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年6月13日

上場会社名 ベルグアース株式会社

上場取引所 東

コード番号 1383 URL <http://www.bergearth.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO兼COO (氏名) 山口 一彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 野本 幸代

TEL 0895-20-8231

四半期報告書提出予定日 2024年6月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年10月期第2四半期の連結業績（2023年11月1日～2024年4月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第2四半期	3,160	△4.1	△132	—	△117	—	△17	—
2023年10月期第2四半期	3,296	24.5	△111	—	△99	—	△51	—

(注) 包括利益 2024年10月期第2四半期 △14百万円 (—%) 2023年10月期第2四半期 △46百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第2四半期	△10.91	—
2023年10月期第2四半期	△34.40	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第2四半期	6,327	2,051	31.6
2023年10月期	5,672	2,082	35.9

(参考) 自己資本 2024年10月期第2四半期 2,000百万円 2023年10月期 2,033百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年10月期	—	0.00	—	—	—
2024年10月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年10月期の連結業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	0.5	90	17.5	98	△8.1	77	△1.3	48.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年10月期2Q	1,610,500株	2023年10月期	1,610,500株
② 期末自己株式数	2024年10月期2Q	13,174株	2023年10月期	13,174株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年10月期2Q	1,597,325株	2023年10月期2Q	1,483,971株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書 .....	8
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	8
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化が進む中で、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加など、各種政策の効果もあって緩やかな回復が続くことが期待されております。一方で、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、金融資本市場の変動等の影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画で掲げた長期ビジョンの基、野菜苗・苗関連事業の基盤強化のための生産・販売体制の再構築、多角化・多品目化へ向けた農資材の販売及び購買力強化などに取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、前連結会計年度における、伊予農産株式会社の決算期変更の影響もあり、売上高は3,160,875千円と前年同四半期と比べ135,366千円(4.1%)の減収となりました。損益面につきましては、営業損失132,652千円(前年同四半期は営業損失111,586千円)、経常損失117,609千円(前年同四半期は経常損失99,291千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失17,421千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失51,055千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

#### (野菜苗・苗関連事業)

当事業部門におきましては、伊予農産株式会社の決算期変更の影響により前年同期から微増となりましたが、前連結会計年度より原材料等の製造コストが高騰する中で、適切な価格への見直しが進んだことに加え、全国各地にある自社農場及びパートナー農場の生産拠点での生産体制及び配送体制を活かした営業推進を行ったことなどにより関東及び九州を中心に売上が増加いたしました。また、ホームセンター向けの春季の家庭菜園につきましては、ルート配送方法を強化したことなどにより売上増加に繋がりました。

損益面につきましては、暖冬の影響により、12月以降の重油使用量や電力使用量が減少した一方で、生産量の増加に伴う生産部門の労務費等の増加、受注拡大へ向けた営業活動費用や配送費の値上げなどにより、製造経費及び販売費及び一般管理費が増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,692,612千円(前年同四半期は売上高2,691,412千円)、セグメント利益(営業利益)は86,630千円(前年同四半期比5.2%減)となりました。

品目分類別の売上高は次のとおりであります。

品目分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
トマト苗	667,999	93.4
キュウリ苗	671,925	108.1
ナス苗	283,821	94.7
スイカ苗	415,255	110.9
メロン苗	271,159	111.1
ピーマン類苗 (注1)	153,550	102.5
その他 (注2)	228,900	79.8
合計	2,692,612	100.0

(注1) ピーマン類として、ピーマン・パプリカ・シシトウ・トウガラシをまとめて表示しています。

(注2) 玉ねぎ苗、葉菜苗、花苗等を含んでおります。

規格分類別の売上高は次のとおりであります。

規格分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ポット苗 (7.5cm~15cm) (注)	1,471,330	102.9
当社オリジナル (アースストレート苗、ヌードメイク苗、e苗シリーズ、高接ぎハイレッグ苗、ウイルスガード苗、ツイン苗)	678,426	97.9
セル苗 (512穴~72穴) (注)	471,000	100.6
その他	71,855	72.0
合計	2,692,612	100.0

(注) ポット苗は、ポリエチレンのポット (ポリ鉢) で育苗した一般的な苗 (当社においては、主に断根接ぎ木苗にて育苗した苗) であり、ポットのサイズが大きくなると苗のサイズも大きくなります。セル苗は、小さな穴が連結した容器 (セルトレイ) で育苗した苗であり、穴数が増えると苗のサイズが小さくなります。

納品地域分類別の売上高は次のとおりであります。

納品地域分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
北海道・東北	460,111	111.2
関東	1,021,664	110.8
甲信越 (注)	243,193	102.8
中部・北陸	207,580	100.6
近畿・中国	304,015	76.7
四国	227,138	83.8
九州・沖縄	228,908	93.2
合計	2,692,612	100.0

(注) 静岡は「甲信越」に含めて表示しております。

(農業・園芸用タネ資材販売事業)

当事業部門におきましては、伊予農産株式会社の決算期変更の影響により前年同期から減収となりましたが、オリジナル培土や肥料、種子の売上増加に加え、愛媛県内生産者向けに生産設備や農業機器などの売上が増加しております。損益面につきましては、伊予農産株式会社が前連結会計年度において8ヵ月間の売上高計上をしていることに加え、販売強化に伴う販促費用及び営業活動費の増加、利益率の低い売上が増加したことによる売上原価率の上昇や仕入価格の値上げ等により利益率が減少したことなどにより減益となりました。

今後も、株式会社むさしのタネの種子販売の拡大に向けた販売促進やオリジナル肥料等のサンプルワークによる営業活動を進めるとともに、農業関連メーカーとの商品開発や肥料メーカー等協力企業との連携を深めることにより商品ラインナップの充実を図ってまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高406,378千円（前年同四半期比24.9%減）となりました。また、セグメント利益（営業利益）は8,660千円（前年同四半期比75.1%減）となりました。

(小売事業)

当事業部門におきましては、2月から春の家庭園芸が始まり売上増加する時期ではありますが、コロナ禍の園芸ブームがひと段落したことやイベント開催時の天候不順などにより客数が減少したことにより、売上が減収となり営業損失が増加いたしました。このような中で、外商の強化や店舗販売でのマーケティングにより新商品の開発に繋げ、今後も、独自のイベント開催や情報発信を強化し、店舗の集客力向上による売上拡大と収益力の改善に向けて取り組んでまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高61,884千円（前年同四半期比2.6%減）、セグメント損失（営業損失）は6,842千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）4,998千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産の合計は、前連結会計年度末と比べ655,491千円（11.6%）増加の6,327,737千円となりました。これは、現金及び預金の減少249,316千円、受取手形及び売掛金の増加872,488千円、電子記録債権の減少119,419千円、棚卸資産の増加184,443千円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比べ686,438千円（19.1%）増加の4,276,359千円となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加292,232千円、電子記録債務の増加33,076千円、短期借入金金の増加250,000千円、長期借入金の増加65,663千円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末と比べ30,946千円（1.5%）減少の2,051,377千円となりました。これは、剰余金の配当及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前年同四半期末と比べ110,876千円（12.9%）減少の748,977千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は、452,786千円（前年同四半期は376,640千円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失11,134千円、減価償却費127,796千円、売上債権の増加額753,069千円、棚卸資産の増加額184,443千円、仕入債務の増加額325,308千円、未払金の増加額169,197千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、81,023千円（前年同四半期は43,073千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出82,866千円、無形固定資産の取得による支出7,346千円、定期預金の払戻による収入9,600千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は、293,882千円（前年同四半期は197,433千円の収入）となりました。これは主に、短期借入れによる収入350,000千円、短期借入金の返済による支出100,000千円、長期借入れによる収入250,000千円、長期借入金の返済による支出185,053千円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しております。そのため、連結業績予想については2023年12月13日の開示時点から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,002,293	752,977
受取手形及び売掛金	982,205	1,854,694
電子記録債権	344,725	225,306
商品及び製品	97,666	119,442
仕掛品	76,214	201,083
原材料及び貯蔵品	182,647	220,445
その他	84,158	73,213
貸倒引当金	△8,816	△11,829
流動資産合計	2,761,095	3,435,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,669,826	1,610,526
機械及び装置（純額）	167,979	159,894
土地	685,641	721,007
その他（純額）	72,752	73,853
有形固定資産合計	2,596,198	2,565,283
無形固定資産	60,912	65,932
投資その他の資産	254,039	261,186
固定資産合計	2,911,150	2,892,402
資産合計	5,672,245	6,327,737

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	598,458	890,690
電子記録債務	74,797	107,873
短期借入金	600,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	343,251	342,535
未払金	192,612	374,482
未払法人税等	72,257	29,264
賞与引当金	62,750	63,728
その他	164,928	88,115
流動負債合計	2,109,056	2,746,691
固定負債		
長期借入金	1,127,571	1,193,234
退職給付に係る負債	15,804	14,626
資産除去債務	137,694	138,168
その他	199,795	183,639
固定負債合計	1,480,864	1,529,668
負債合計	3,589,921	4,276,359
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	724,476	724,476
資本剰余金	605,759	605,759
利益剰余金	739,022	705,499
自己株式	△32,726	△32,726
株主資本合計	2,036,531	2,003,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,290	4,499
為替換算調整勘定	△6,244	△6,833
その他の包括利益累計額合計	△2,953	△2,334
非支配株主持分	48,746	50,703
純資産合計	2,082,324	2,051,377
負債純資産合計	5,672,245	6,327,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
売上高	3,296,241	3,160,875
売上原価	2,551,782	2,439,486
売上総利益	744,458	721,388
販売費及び一般管理費	856,045	854,041
営業損失(△)	△111,586	△132,652
営業外収益		
受取利息	84	20
受取配当金	659	682
受取手数料	6,603	5,609
受取補填金	3,943	5,115
貸倒引当金戻入額	2,060	—
補助金収入	6,059	3,527
その他	3,916	6,473
営業外収益合計	23,326	21,429
営業外費用		
持分法による投資損失	1,090	819
支払利息	4,703	4,502
過年度関税等	1,810	—
その他	3,427	1,064
営業外費用合計	11,032	6,386
経常損失(△)	△99,291	△117,609
特別利益		
固定資産売却益	33	36
補助金収入	35,813	37,889
受取保険金	1,876	69,147
特別利益合計	37,722	107,072
特別損失		
固定資産除却損	0	447
リース解約損	—	150
特別損失合計	0	597
税金等調整前四半期純損失(△)	△61,569	△11,134
法人税、住民税及び事業税	22,307	17,778
法人税等調整額	△34,648	△13,449
法人税等合計	△12,341	4,329
四半期純損失(△)	△49,227	△15,464
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,827	1,957
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△51,055	△17,421

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
四半期純損失(△)	△49,227	△15,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	909	1,208
為替換算調整勘定	1,452	△589
その他の包括利益合計	2,362	619
四半期包括利益	△46,865	△14,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△48,692	△16,802
非支配株主に係る四半期包括利益	1,827	1,957

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△61,569	△11,134
減価償却費	137,849	127,796
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,825	3,013
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,833	978
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,064	△1,177
受取利息及び受取配当金	△743	△703
受取保険金	△1,876	△69,147
補助金収入	△41,872	△41,416
支払利息	4,703	4,502
持分法による投資損益(△は益)	1,090	819
固定資産除却損	0	447
売上債権の増減額(△は増加)	△576,479	△753,069
棚卸資産の増減額(△は増加)	△178,090	△184,443
仕入債務の増減額(△は減少)	135,021	325,308
未払金の増減額(△は減少)	199,375	169,197
その他	△23,753	△70,424
小計	△398,623	△499,452
利息及び配当金の受取額	743	703
利息の支払額	△4,832	△5,167
補助金の受取額	41,872	41,416
保険金の受取額	1,876	69,147
法人税等の支払額	△17,677	△59,432
営業活動によるキャッシュ・フロー	△376,640	△452,786
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,200	△800
定期預金の払戻による収入	13,000	9,600
有形固定資産の取得による支出	△35,294	△82,866
無形固定資産の取得による支出	—	△7,346
投資有価証券の取得による支出	△550	△550
関係会社株式の取得による支出	△13,700	—
その他	△4,329	939
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,073	△81,023

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	310,000	350,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	△100,000
長期借入れによる収入	—	250,000
長期借入金の返済による支出	△188,437	△185,053
株式の発行による収入	298,197	—
配当金の支払額	△14,056	△15,547
その他	△8,270	△5,516
財務活動によるキャッシュ・フロー	197,433	293,882
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,452	△589
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△220,828	△240,516
現金及び現金同等物の期首残高	1,080,682	989,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	859,853	748,977

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
前第2四半期連結累計期間（自 2022年11月1日 至 2023年4月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	野菜苗・苗 関連事業	農業・園芸用 タネ資材販売 事業	小売事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じ る収益	2,691,412	541,288	63,538	3,296,241	—	3,296,241
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,691,412	541,288	63,538	3,296,241	—	3,296,241
セグメント間の内部売 上高又は振替高	5,322	13,488	3,999	22,810	△22,810	—
計	2,696,735	554,776	67,538	3,319,050	△22,810	3,296,241
セグメント利益又は損失 (△)	91,391	34,770	△4,998	121,163	△232,750	△111,586

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△232,750千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年11月1日 至 2024年4月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	野菜苗・苗 関連事業	農業・園芸用 タネ資材販売 事業	小売事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じ る収益	2,692,612	406,378	61,884	3,160,875	—	3,160,875
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,692,612	406,378	61,884	3,160,875	—	3,160,875
セグメント間の内部売 上高又は振替高	3,154	12,690	2,951	18,795	△18,795	—
計	2,695,767	419,068	64,835	3,179,670	△18,795	3,160,875
セグメント利益又は損失 (△)	86,630	8,660	△6,842	88,449	△221,102	△132,652

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△221,102千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。